

令和2年度当初予算(案)の概要

(令和2年2月18日財政課)

★ 予算規模

一般会計 3,253億円(対前年度 73億円増 +2.3%)
 全会計 6,423億円(対前年度 198億円増 +3.2%)

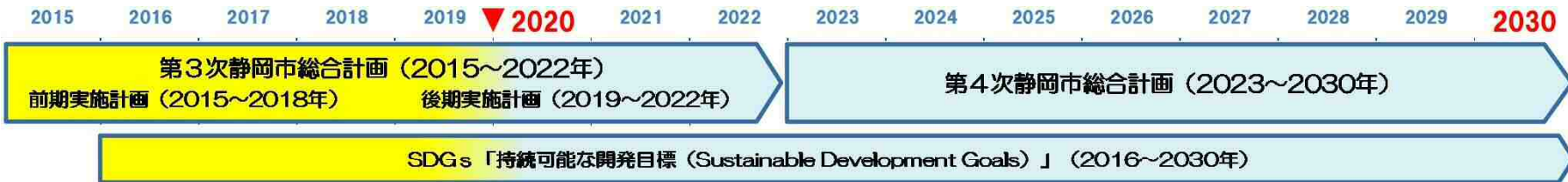
過去最大の予算規模

★ 予算編成のポイント

- ◇ 本市の最重要課題である3次総の「5大構想」を実現するための施策に予算を重点配分
- ◇ 将来にわたる地域経済の活性化に向け、人口活力の維持、持続可能なまちの実現を図る取組を予算に反映
- ◇ 安心・安全な社会の構築を目指し、教育・子育ての充実、災害対応力の強化などの取組を予算に反映

・国の「15か月予算」の考え方と連動して、令和元年度2月補正予算と令和2年度当初予算を合わせて編成
 普通建設事業費について、令和元年度2月補正予算では、「持続的な経済成長の実現」を目的とした国の経済対策の活用などにより約76.4億円を計上し、令和2年度当初予算と合わせた総額では約471億円を計上

～第3次総合計画後期実施計画の推進(2030年のゴールに向けて)～



「世界に輝く静岡」の実現

情報発信力の強化

- ・民間出身の戦略広報監を起用したシティプロモーション
- ・まちのプラモデル化による国内外への魅力発信



世界共通のものさし (2016～2030)

SDGsという世界共通のものさしで設定された、2030年のGOALに向けた大きな目標を5大構想に組み込み、世界水準のまちを目指します。

5大構想

世界に存在感を示す3つの都心づくり



歴史文化の拠点づくり

7.7億円

- ・歴史文化施設の整備推進
- ・市民文化会館のリノベーションに向けた計画策定
- ・駿府城跡天守台遺構のフィールドミュージアム化推進
- ・駿府城公園中堀における葵舟の本格運行
- ・今川義元公生誕五百年祭を継承した顕彰事業の実施

海洋文化の拠点づくり

8.5億円

- ・海洋・地球総合ミュージアムの整備推進
- ・新清水庁舎の整備推進
- ・清水港への大型客船の誘致と寄港歓迎
- ・清水港線跡遊歩道・島崎町交差点の整備
- ・駿河湾フェリーの運航継続支援と利用促進



教育文化の拠点づくり

1.4億円

- ・駿河学びのまちづくりグランドデザイン(東静岡・草薙地区)策定
- ・「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」の刷新
- ・静岡大学将来構想協議会の運営
- ・民間主体の賑わいのある草薙駅周辺まちづくりへの支援
- ・東京2020大会と連動したアート&スポーツ/ヒロバの賑わい創出

生活の質を高める2つの仕組づくり



「健康長寿のまち」の推進

14.9億円

- ・認知症ケア推進センターの開設による総合支援体制の構築
- ・成年後見支援センターの開設による専門相談機能の充実
- ・高齢者の安全運転のための急発進防止装置取付け支援
- ・民間の地域・多世代交流型住宅と連携した共生地区推進
- ・「自宅ですつ」とを支える地域包括ケアシステムの推進

「まちは劇場」の推進

8.2億円

- ・「まちは劇場」のブランディングとプロモーション
- ・春夏秋冬フェスティバルが楽しめるまちの実現
- ・日本平を核とした夜景ブランディングによるナイトタイムエコミーの推進
- ・民間施設とのタイアップによる城北公園の整備
- ・制作期間3年の集大成となる市民参加型舞台公演の開催



第3次総合計画

令和2年度の主な新規・拡充事業

地域経済の活性化 (人口活力の維持)

- ・地域おこし協力隊員によるテレワーク移住の促進
- ・民設民営アリーナ誘致に向けた調査検討
- ・東京2020大会の事前合宿受入れとライブサイト開催
- ・ふるさと応援寄附金を活用したNPO等の活動支援



(持続可能なまちの実現)

- ・様々な交通手段が連携した静岡型MaaSの実証実験
- ・御幸町9番・伝馬町4番地区の再開発推進
- ・産業集積に向けた大谷・小鹿土地区画整理の推進
- ・農業の生産性向上に向けた畑地帯総合整備事業の推進



安心・安全な社会の構築 (教育・子育ての充実)

- ・静岡市型35人学級編制の完全実施
- ・自閉症・情緒障害学級の学習指導体制の充実
- ・不登校児童生徒に対する訪問教育相談員の配置
- ・待機児童ゼロを目指した児童クラブの整備・運営



(災害対応力の強化)

- ・災害情報を一元的に共有・発信するシステムの構築
- ・同報無線の更新を含む最適な情報伝達手段の検討
- ・機能別消防団員制度導入による地域防災力の強化
- ・浸水対策推進プランに基づく河川改修・雨水ポンプ場整備



・SDGsとは、2015年国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」のこと。国連が提唱した「誰ひとりとして取り残さない」の合言葉をもとに、全ての国や地域が持続的に発展していくために決めた世界共通の17の目標を指す。